

令和2年度第6回鳥取市総合企画委員会（3/29開催）
委員事前意見一覧

項目	No	委員名	意見・質問	回答	担当課
第11次鳥取市総合計画 第1期実施計画（案）	1	坂本委員	<p>第11次総合計画の初年度（R3年度）実施計画の中で、「しごとづくり」として新規に実施される計画は、どれですか？</p> <p>総合計画とは「基本構想に基づく10年計画」、総合戦略とは「総合計画のうち重点的に実施する施策」、実施計画とは「重点施策およびその他施策の具体的な実施計画」と理解していますが、総合戦略として実施される新規の実施計画はありますか？</p>	<p>資料1「第11次鳥取市総合計画第1次実施計画」の25ページの14番、地元企業早期ブランディング事業費と27ページの6番、企業誘致推進費が新規事業です。</p> <p>地元企業早期ブランディング事業は、基本目標Ⅱ-1「稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり」における数値目標「大学生市内就職率：28.2%」を達成するため、進学・就職前の高校生にオンラインを活用した事前・事後学習と職場体験を通じて地元企業の魅力を伝える取組です。</p> <p>企業誘致推進費は、基本目標Ⅱ-1「稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり」における数値目標「市内事業所数：維持」を達成するため、本市にオフィスを移転・新設する事業者に対し、テナント等の改修費及び設備移送費等を支援するものです。</p>	経済・雇用戦略課
第2期鳥取市創生総合戦略（案） Ⅱ 誰もがかつやくできる「しごとづくり」	2	坂本委員	<p>総合戦略の中で、「数値目標」とは、KGI（Key Goal Indicator）と理解してよいでしょうか。そのうえで各KPI（Key Performance Indicator）との関係性を、「しごとづくり」の総合戦略の1項目を例にご説明ください。</p>	<p>創生総合戦略では、政策分野ごとに「基本目標」を設定し、その目標の達成度合いを検証するための指標「数値目標」を設定します。そして、その政策分野に位置付ける各施策には、その進捗状況を検証するための指標「KPI」（Key Performance Indicator）を設定します。</p> <p>「KGI」（Key Goal Indicator）は売上高や成約数、利益率など、企業の経営戦略などにおける最終目標の達成度合いを検証するための指標のことですが、創生総合戦略においては「数値目標」がKGIに当たるものとなります。</p> <p>単独事業のみで計画や戦略の目標を達成できるものではないため、1例の提示となりますが、資料2-1「第2期鳥取市創生総合戦略」の14ページ、基本目標「稼ぐ地域の数値目標「就業者1人あたりの市内GDP：7,478千円」を達成するため、重点施策として「持続可能な経済成長の実現」に取り組み、その中でKPI「市公式インターネットショップとっとり市の売上金額の累計額：179,964千円」を掲げ、具体的には、市公式インターネットショップとっとり市を運営し、キャンペーン等を行うことで、市内事業者の販路拡大の提供及び市内物産のPR等に取り組んでいます。</p>	経済・雇用戦略課

項目	No	委員名	意見・質問	回答	担当課
第1次鳥取市総合計画 第1期実施計画（案） 第2期鳥取市創生総合戦略（案）	3	坂本委員	総合戦略の「具体的な取組」と実施計画および実施する事業内容の関連性と網羅性が見えない（または分かりづらい）。課題を踏まえ、総合戦略をどう実行するのか、初年度から5年目（戦略終了時）までのHop-Step-Jumpが設計できていないように感じます。	創生総合戦略の「具体的な取組」の事業は、全て実施計画に位置付けております（実施計画一覧の戦略事業欄の○印のあるもの）。 例えば、資料2-1「第2期鳥取市創生総合戦略」P16の具体的な取組「②販路・取引の拡大」の『市公式インターネットショップ「とっとり市」による市内事業者の販路拡大の機会提供及び市内物産のPR』は、資料1「第1期実施計画」P24のNo7「インターネットショップ事業費」が当たります。全体的にそのようにご覧いただきたいと思えます。 創生総合戦略においては、政策分野ごとに位置付けた各施策を総合的に展開することで、基本目標の達成を目指します。ご意見を踏まえ、施策を推進する事業の計画的な実施を図り、基本目標の達成を目指します。	創生戦略室
第1次鳥取市総合計画 第1期実施計画（案）	4	坂本委員	従来からの継続事業が殆どで、時代の変化に対応する施策がないように思えます。継続事業の棚卸と外部環境の変化（コロナ禍による地域経済、自然災害、国際関係などによる脅威と機会）に対応する新しい視点が必要と考えます。	行政の事業には、子どもの医療費負担の軽減支援や成年後見制度の利用支援、休日夜間急患診療所の運営など、切れ目なく安定的に実施することで、施策の目標達成を目指す事業が多くありますが、そのような事業はしっかりと継続実施しながら、社会・経済情勢の変化に応じて、新たな取組の追加や内容の変更等を行い、さらに事業の選択と集中により、限られた財源を効果的に活用することが必要と考えます。 第1期実施計画では、P9のNo12「GIGAスクール構想事業費」（繰越事業）やP25「地元企業早期ブランディング事業費」（繰越事業）など、時代の変化や主要課題に対応するための新規事業も盛り込んでおりますが、ご意見を踏まえ、引き続き事業内容の充実を図っていきたいと考えます。	創生戦略室
	5	坂本委員	総合計画、総合戦略の実現には、組織横断的な取組が必須と考えています。今後の計画遂行にあたって、明確な目標設定を掲げ、力強く事業推進を行う「〇〇事業推進本部」というような新組織を作られる必要があるのではないかと思います。	ご意見いただきましたように、総合計画や創生総合戦略の推進に当たっては、幅広い分野の取組を総合的かつ一体的に取り組むことが必要であると考えます。 計画と戦略を所管する企画推進部を中心に、部局間でしっかり連携を図りながら、取組を進めてまいります。	創生戦略室